

# 第3章 基本的方向と具体的施策の数値目標

## 基本目標と重点施策・事業に対する客観的な指標

基本目標を達成するために、取り組む数値目標と重点施策に対し、重要業績評価指標(KPI)を次のとおり設定します。

**重要業績評価指標 (KPI) : Key Performance Indicator の略称  
事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標**

### 【基本目標1】 八百津に呼び込む

～自然環境と文化・伝統を活かした魅力あふれる やおつ～

#### (1) 基本的な方向

- 杉原千畝の人道精神、命の大切さを世界へ発信し続け、杉原千畝オンリーワンプロモーションを推進することで、新たな人の流れを創出します。
- 特色あるスポーツ施設を活用した観光・交流の場を積極的にPRし、観光客や移住希望者へ八百津町の魅力を効果的に伝えるとともに、一帯の整備を継続して実施し、様々なイベントや大会開催を推進します。
- 「ちょうどいい田舎」での田舎暮らしを体験できるプログラムを整備し、首都圏や都市圏からの来訪者と地域住民との関わりを生み出します。人のやさしさやみどりあふれる本町の魅力を直接的に伝え、移住・定住者の増加に向け様々な形の支援を行います。

◎数値目標 杉原千畝記念館集客数 年間 40,000 人 【基準値：平成 26 年 20,000 人】  
社会的増減数 年間で 168 人減 (+85 人) 【基準値：平成 26 年 253 人減】

#### (2) 重点施策と重要業績評価指標 (KPI)

##### ① 杉原千畝オンリーワンプロモーションの強化施策

【方針】 「杉原千畝の心を育んだまち」として、ユネスコ記憶遺産への登録に向けた取り組みをはじめ、杉原千畝の人道精神、命の大切さと世界平和を発信し続け、杉原千畝を核とした地域ぐるみのオンリーワンプロモーションを推進する。また、杉原千畝記念館を起点とした新たな広域観光ルートを形成し、周辺環境の整備を行うことで、外国人観光客のさらなる誘客を図り、観光拠点として新たな人の流れを創出する。

【KPI】	杉原千畝記念館集客数	【平成31年数値目標】 40,000 人 (外国人 3,000 人)
-------	------------	---------------------------------------

【基準値】 記念館集客数 20,000 人/H26 年 (外国人 1,000 人/H26 年)

【事業名】	杉原千畝の人道精神と世界に平和と命の大切さを発信するまちづくり事業	担当課：総務課
	杉原千畝リレーシンポジウム事業	担当課：タウンプロモーション室

② 特色あるスポーツ施設を活用した観光・交流の促進施策

【方 針】	木曾川の清流、そこに映し出されるみどりあふれる自然と融合した蘇水公園は、B & G艇庫を活用した海洋性スポーツと各種の球技スポーツなど、県内外に誇ることのできる特色ある複合スポーツの拠点である。本町の玄関として、さらなる観光・交流人口の増加、移住・定住へのきっかけづくりとなるよう、積極的にPRを行っていくとともに、一帯の整備を継続して実施し、様々なイベントや大会開催を推進する。	
【K P I】	スポーツ施設年間利用者数	【平成31年数値目標】 28,000人
【基準値】	平成26年度実績 25,170人	
【事業名】	蘇水公園複合スポーツ拠点化事業	担当課：教育課

③ 「ちょうどいい田舎」での田舎暮らし実現施策

【方 針】	田舎暮らしモデルハウスや本町ならではの田舎体験プログラムなど、田舎暮らしを週末や休日に体感できる環境を整備することで、来訪者と地域住民との関わりを生み出す。人のやさしさやみどりあふれる本町の魅力「ちょうどいい田舎」を広く伝えるとともに、都市部からの交流人口の増加、移住・定住者増加に向け、田舎暮らし実現に向けた様々な形の支援を行う。	
【K P I】	移住体験による定住世帯数	【平成31年数値目標】 3世帯
【基準値】	平成26年度実績 0世帯	
【事業名】	移住・定住体験事業	担当課：産業課

【その他関連事業】

- ・若者世代向け町有住宅の建設事業（建設課）
- ・空き家バンク移住推進事業（産業課）
- ・地域おこし協力隊による地域活性化事業（産業課）
- ・空き家・空き地受け入れ事業（タウンプロモーション室） など

## 【基本目標2】しごとをつくる

### ～ 地域産業の向上による活発で活力ある やおつ ～

#### (1) 基本的な方向

- 自然環境を活かしながら、農業を中心に各振興の環境整備を行う。6次産業化などによる新たなビジネスや雇用の創造を促進し、経済の新陳代謝を図ります。町外に在住する就農希望者へ支援を実施しながら、近隣への通勤に利便性の高いまちとして町内への移住・定住を図ります。
- 地域産業の活性化を促進するため、「まちなか」にぎわい再生に向け、空き店舗・空き家と都市部の企業・団体、移住希望者等を積極的にマッチングさせ、サテライト・オフィスの開設や移住・定住推進を図るとともに、新たな企業や雇用の創出を図ります。
- 再生可能エネルギー活用事業の展開に向け、産官学や民間企業の技術力と連携し、町内の再生可能エネルギー資源を活かしたビジネスモデルを構築します。

◎数値目標	新規就農者数	5年間で10人	【基準値：平成26年 2人】
	新規法人届出数	5年間で20法人	【基準値：平成26年 3法人】

#### (2) 重点施策と重要業績評価指標 (KPI)

① 農産物ブランド化の推進施策			
【方針】	平坦地から海拔500mを超える中山間地まで広がる豊かな農地は、異なる気候や地形など、それぞれ魅力的な風土を持っている。これらを活かして、その土地に合った新たな農産物づくりを推進することで、これまでの稲作中心の農業から本町特有の農業へとシフトチェンジを図る。また、町内農産物のブランド化や加工販売を行う6次産業化に積極的に取り組み、地域に活力を生み出しながら、担い手の確保や新たな雇用の創出へとつなげる。		
【KPI】	認定品目数	【平成31年数値目標】	2品目
【基準値】	ブランド作物、開発した加工品目の数(0品目)		
【事業名】	農産物ブランド化事業	担当課：産業課	

② 「まちなか」にぎわい再生施策

【方針】	「まちなか」にぎわいの再生に向け、商店街等の空き家・空き店舗の把握と流動化を図り、空き家バンクの充実、移住者との積極的なマッチングを行い、改修に要する費用等の補助を行う。また、美味しい地元の食材や澄んだ空気、そして何より、地域住民のやさしさと思いやりにあふれる本町は、都市部企業や団体のサテライト・オフィスとしても適していることから、この誘致に対するアプローチを検討し、地域のニーズに合った空き家・空き店舗の活用を推進することで、新たな企業や雇用を生み出して地域の活性化を図る。	
【K P I】	空き店舗再生件数 事業所設置数	【平成31年数値目標】 2件 5か所
【基準値】	空き店舗再生件数 0件 事業所設置数 0か所	
【事業名】	空き店舗魅力いっぱい再生事業	担当課：産業課

③ 再生可能エネルギーの推進施策

【方針】	産官学、そして民間企業の技術力と連携することで、町内の再生可能エネルギー資源を活かしたビジネスモデルを構築し、再生可能エネルギー活用事業の展開に向け地域経済の活性化を目指す。また、水素製造に伴う排熱エネルギーを利用し、新たな町の特産品等の確立や6次産業化を推進することで、新たな雇用を創出し、地域の活性化と労働力の確保へとつなげ、行政の持つ新たな可能性に挑戦していく。	
【K P I】	再生可能エネルギー利用施設数	【平成31年数値目標】 1件
【基準値】	再生可能エネルギー利用施設数 0件	
【事業名】	八百津町再生エネルギー活用事業	担当課：産業課

【その他関連事業】

- ・ 6次産業化推進事業
- ・ 新規就農者育成事業（産業課）
- ・ 八百津町小口融資利子補給制度の開設事業（産業課） など

## 【基本目標3】人を育む

### ～ 子育て世代に選ばれる やおつ ～

#### (1) 基本的な方向

- 「杉原千畝の心を育んだまち」として、人道プランのもと、人権教育を推進し、命の大切さや思いやりの心の大切さを知るグローバルな視野で物事を捉えることができる子どもたちの育成に取り組めます。
- 子育て世代のニーズに柔軟な対応ができ、安心して子育てができる保育・教育環境を整備するとともに、今後需要が予測される保育士の確保や施設整備を整え、次世代を担う子どもの育成を支援します。
- 結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援を行うための仕組みを構築します。妊娠・出産を望む夫婦の経済的負担の軽減や、保険診療適用外治療の一部を助成するとともに、安心して妊娠・出産・育児ができる「パパママ教室」などの環境を構築します。

◎数値目標	合計特殊出生率 平成 31 年 1.51	平成 72 年 (2060 年) 2.07
	(人口ビジョン目標人口より)	【基準値：平成 22 年 1.27】
	婚姻率 3.4 件/1,000 人当たり	【基準値：平成 26 年 3.4 件】

#### (2) 重点施策と重要業績評価指標 (KPI)

① ふるさとと世界を知る子どもの育成施策		
【方針】	「杉原千畝の心を育んだまち」として、人道プランのもと、人権教育を推進し、命の大切さや思いやりの心の大切さを知る子どもたちの育成に取り組む。杉原千畝の人道精神を次世代へ受け継ぎ、世界へと発信していくためにも、子どもたちのコミュニケーション能力の素地を育て、国際理解を深める教育として、小中学校の英語授業を強化する。また、中学生の海外派遣事業、高校生の海外留学事業により、外国の文化等に触れる機会をつくり、よりグローバルな視野で物事を捉えることができる子どもたちの育成を推進する。	
【K P I】	中高生海外派遣事業生徒数	【平成 31 年数値目標】 100 人
【基準値】	平成 26 年度海外派遣中学生 20 人、平成 26 年度海外留学高校生 0 人	
【事業名】	中学生海外派遣事業	担当課：教育課
	高校生海外留学助成事業	担当課：教育課

## ② 安心して子育てができる保育・教育環境の支援施策

【方針】	子どもを安心して産み育てられる環境づくりの実現に向け、3歳未満児保育、延長保育、休日保育、一時保育など多様化する保護者のニーズに柔軟な対応ができるような、町内保育園の受け入れ環境の充実を図る。特に3歳未満児保育は、今後需要が高まることが予想されるため、保育士の人材確保に重点を置き、統廃合も含めた施設整備について検討していくことで、待機児童の発生を防止し、次世代を担う子どもたちの育成と保育を必要とする家庭への支援を行う。		
【K P I】	3歳未満児保育待機児童数	【平成31年数値目標】	0人
【基準値】	3歳未満児保育待機児童数 0人		
【事業名】	保育サービスの提供事業	担当課：健康福祉課	

## ③ 安心して出産を迎えるための支援施策

【方針】	妊娠・出産を望む夫婦の経済的負担の軽減と少子化への対策として、不妊治療及び不育症に要する保険診療適用外の治療費を一部助成する。 また、安心して妊娠・出産・育児ができるよう、妊娠4か月～8か月の妊婦とその家族を対象とした「パパママ教室」を開催する。母親の産前・産後の心と体の状態を知り、妊娠・出産について学ぶことは、父親としての自覚や役割を考えることでもある。育児に参加しやすい環境づくりのサポートから健やかな育児の実現までの継続した支援を行う。		
【K P I】	不妊治療・不育症治療による妊婦数、 出産件数	【平成31年数値目標】	5件
【基準値】	年平均：不妊治療 5件 (パパママ教室受講率 18%：初妊婦受講率 24%)		
【事業名】	不妊治療及び不育症治療費一部助成事業 妊娠・出産・育児「パパママ教室」の開催	担当課：健康福祉課 担当課：健康福祉課	

### 【その他関連事業】

- ・子育て支援の充実事業（健康福祉課）
- ・婚活支援等事業（総務課）
- ・親子での体操等の教室の開催事業（教育課） など

## 【基本目標4】安心をつくり・まちをつなぐ

～ 確かな暮らしを実現する安心・安全な やおつ ～

### (1) 基本的な方向

- 「みのかも定住自立圏共生ビジョン」を引き続き推進するとともに、関係する地方公共団体との新たなつながりを創出し、地域間・官民連携の強化を図ります。
- 主体的な活動に対する新たな支援の仕組みや体制づくりを推進するとともに「小さな拠点」の形成を目指し、本町の魅力や資源を活用することで地域の課題解決に取り組み、地域に活力を生み出します。
- 自助・共助に基づく自主防災組織の活動を支援するとともに、町民一人ひとりの防災意識の向上・地域防災力の強化を図り、災害に強いまち・ひとづくりを推進します。

◎数値目標 八百津町は、「住みやすい」と答えた人の割合 平成31年度目標 70.0%  
【基準値：平成27年 57.2%】

### (2) 重点施策と重要業績評価指標 (KPI)

① 定住自立圏の推進と地域間・官民連携施策		
【方針】	美濃加茂市と加茂郡が連携し、それぞれの地域が持つ強みを活かし、弱みを補完し合いながら、圏域全体を活性化させるため「みのかも定住自立圏共生ビジョン」を推進する。また、様々な視点において、関係する地方公共団体との新たなつながりを創出し、広域的なメリットを存分に発揮できるよう地域間の連携を強化するとともに、地方公共団体のみでの取り組みではなく、民間と協働して行う事業など、地域の成長を目的とした官民連携の推進体制の構築に向けて取り組む。	
【KPI】	RAINBOW CHILD2020 来場者数	【平成31年度数値目標】 10,000人
【基準値】	RAINBOW CHILD2020 来場者数 1,500人	
【事業名】	野外フェスティバル等地域コミュニティ事業	担当課：総務課



② 「わたしたちのまち やおつ」づくりの推進施策

【方 針】	主体的な活動を行う地域や住民のニーズに応じた新たな支援の仕組みや体制づくりを推進する。また、中山間地域等、将来にわたり持続的に集落で暮らすことができる「小さな拠点」の形成を目指し、必要な生活サービスの維持・確保、地域における仕事・収入の確保を図るとともに、町の魅力や資源を活用しながら地域の課題解決へとつながる新たな事業を住民自らが創出できるように、人と人、想いと想いをつなげ、地域の活性化を促進する。	
【K P I】	「まち会」から発信される事業数	【平成31年数値目標】 3件
【基準値】	平成26年度 0件	
【事業名】	やおつ創生「まち会」事業	担当課：総務課

③ 災害に強いまち・ひとづくり施策

【方 針】	7.15 豪雨災害等の体験を糧として、町民一人ひとりが防災意識の向上を図り、地域防災の担い手となるよう災害に強いまち・ひとづくりを推進する。町民の自助・共助に基づく自主防災組織の継続した活動を支援するとともに、防災士等の地域防災力向上を担う人材の育成に取り組み、その組織化・ネットワーク化を図り、よりミクロなコミュニティの地域防災力を強化する。また、災害や防災に対する正しい知識や技術を習得するための防災訓練や講演会などを行い、より一層の防災意識の向上を図り、地域の安心・安全を確保する。	
【K P I】	自主防災組織数	【平成31年数値目標】 35組織
【基準値】	平成26年度 自主防災組織30組織（防災士42名、防災リーダー73名）	
【事業名】	地域防災力の強化事業	担当課：防災安全室

【その他関連事業】

- ・山の拠点づくり事業（産業課）
- ・学校給食地産地消の推進事業（学校給食共同調理場）
- ・芸術鑑賞を核とした大学等連携事業（教育課） など